

松代病院検討表(たたき台)

資料 2

H20.7.30

項目	「たたき台」と違う意見等については			修正部分は下線部分	備考
	たたき台 (当初:第4回検討会6月23日)	理由	検討委員からの意見等	たたき台 (修正:第5回検討会7月30日)	
1 診療機能等 (1)地域医療の確保・充実 役割	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療病院 (公的な福祉活動・保健活動と協働できる包括的医療センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ・十日町病院との連携による医療提供。 ・へき地診療所(松之山、室野診療所)の支援。 ・プライマリーケアを重視。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十日町病院との関係は「連携」より「一体化」が妥当。 ・地域での包括的(医療・保健・福祉)なセンターとして考える。 ・地域住民のためのプライマリーケア(風邪ひき、腹下し)程度の入院ができればよい。また、急性期を過ぎて直接帰宅できない患者の受け入れ体制を整備。 ・1つの市に2つの県立病院は難しいかもしれないが、高齢化が進み、限界集落が増え、住民の不安は高まっているため、十日町病院の分院という体制で継続を強く望む。 ・一つの可能性として、看取りのできる老人専門病院としての位置づけもあるのではないかと。 ・十日町病院が急性期を担い、亜急性期の患者さんを受け入れるためのリハビリ機能を病院としての位置づけが必要。 ・プライマリーケアは特に重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療病院 (公的な福祉活動・保健活動と協働できる包括的医療センター) 	
病病・病診連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携バスの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院、診療所との役割分担、連携強化。 ・プライマリーケアについて、かかりつけ医(診療所等)の役割を重視。 ・患者の病態に応じた円滑な病診間移動環境の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内での連携機能強化が必要。(窓口、パス[行政の窓口を含む]) ・十日町病院との連携こそが、松代病院が存続・継続できる最大の条件と考える。 ・亜急性期患者の受け入れ退院先の確保等入退院調整専任者の整備(社会福祉士の資格があれば退院調整加算が算定可能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携バスの整備 	
オープンシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・オープン病床、機器の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療資源の効果的な利用のために病床等を共同利用 	<ul style="list-style-type: none"> 困難 ・松之山、室野診療所を支援するためにも重要視願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし(利用が見込めない) 	
2 施設規模等 (1)診療科	<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり 【現在の診療科数:5】 内科、整形外科、泌尿器科、眼科、精神科 		<ul style="list-style-type: none"> ・十日町病院との「連携」の中で現行の診療科は可能であり、内科、整形外科は常勤的体制で行うところが必要。 内科のみで妥当。 ・厚生連が運営主体を希望してくれたことは有難いが、病院の運営主体が厚生連ありきで進むと診療科目等に制約をうけるか懸念。 ・リハビリテーション科が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション科の新設 【現在の診療科数:5】 内科、整形外科、泌尿器科、眼科、精神科 	
(2)病床数	<ul style="list-style-type: none"> ・55床程度(一般病床:現行どおり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等からの患者のためのベット、看取りのためのベット等の確保必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・55床必要か検討を要する。他医療機関、福祉施設、在宅ケアなどを考慮した上で、必要数を設置。 「病院」の本来機能から考えれば縮小の方向が妥当。 医療スタッフの確保等から病床20床未満の診療所が妥当。 ・現行どおりを望む。経営面のことも多くは望まない。 ・現状から見ると、へき地診療所の支援は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・55床程度(一般病床:現行どおり) 	
3 へき地医療	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地診療所(松之山、室野診療所) 	<ul style="list-style-type: none"> (へき地診療所設置地域)2地区 		<ul style="list-style-type: none"> ・へき地診療所(松之山、室野診療所)の支援。 	

項目	たたき台 (当初:第4回検討会6月23日)	理由	検討委員からの意見等	たたき台 (修正:第5回検討会7月30日)	備考
4 在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> 訪問診療等の実施、支援の充実 (訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等) (将来的には、在宅医療支援病院の可能性を検討) 	<ul style="list-style-type: none"> 在院日数短縮等による在宅医療の重視 	<ul style="list-style-type: none"> 現状から見ると、在宅医療支援病院の可能性は難しい。 在宅医療は今後重要視されるが、効率が低下しかねない。経営面を無視し門戸の開放は、将来松代病院の開院につながりかねない。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問診療等の実施、支援の充実 (訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等) 	
5 救急医療	<ul style="list-style-type: none"> 病院群輪番制に参加(2次救急医療体制:現行どおり)。 	<ul style="list-style-type: none"> 診療所と機能、役割分担の明確化。 	<ul style="list-style-type: none"> 「冬期積雪期」での対応をどのようにするか検討必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 病院群輪番制に参加(2次救急医療体制:現行どおり)。 	
6 保健との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域保健センターの併設。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の健康課題を十分に把握し、計画的な保健指導を実施し、市町と保健所、最寄のへき地診療所等の連携を推進することが必要。 学校保健、産業保健等の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 病院を存続するためには、あるいは住民の評価を得るためには重要と考えるが、これは松代病院の医師が考えること。医師の負担増にならないことを望む。 地域保健センターの併設には行政機構とのかかわりもあり、慎重な対応が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域保健センターの併設。 	
7 福祉との連携	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉施設等との連携、支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後のケア体制充実のため、社会福祉施設等とのケアカンファレンス体制の構築等が必要。 		<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉施設等との連携、支援。 	
8 臨床研修指定病院	<ul style="list-style-type: none"> 協力型病院(病院群臨床研修プログラム等を実施) (研修医にとっての魅力ある研修プログラムの提供) 	<ul style="list-style-type: none"> 管理型病院(十日町病院)に協力することにより、研修医を確保し、地域医療従事医師を育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 協力型病院が妥当。 十日町病院と併せて、地域医療研修を行える病院を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> 協力型病院(病院群臨床研修プログラム等を実施) (研修医にとっての魅力ある研修プログラムの提供) 	
9 病院の経営形態等	<ul style="list-style-type: none"> 未定 		<ul style="list-style-type: none"> 十日町病院との一体化が可能になるような運営・経営形態。 現時点では未定が良い。 公設(県設)民営とし、民は十日町病院と同じ運営主体を要望。 	<ul style="list-style-type: none"> 未定 	
10 医療スタッフの確保	<ul style="list-style-type: none"> 十日町病院(へき地医療支援病院)や大学医局等から医師派遣により確保 			<ul style="list-style-type: none"> 十日町病院(へき地医療支援病院)や大学医局等から医師派遣により確保 	
11 地元自治体の役割分担 (想定されるもの)	<ul style="list-style-type: none"> 病院施設周辺部のまちづくり(地域資源の活用含む) 公共交通機関の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 地元住民、自治体を中心となり、地域全体で医師等の医療スタッフが求たくなるような地域づくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通網の整備が重要課題。 松代、松之山地区の住民にとって、十日町病院、松代病院まで、必要時に使えるシャトルバスがあれば便利。 	<ul style="list-style-type: none"> 病院施設周辺部のまちづくり(地域資源の活用含む) 公共交通機関の確保 	
12 財政支援	<ul style="list-style-type: none"> 国等の補助金、地方交付税交付金(総務省)は、公設民営化等に係る地方財政措置の充実を検討中。 			<ul style="list-style-type: none"> 国等の補助金、地方交付税交付金(総務省)は、公設民営化等に係る地方財政措置の充実を検討中。 	